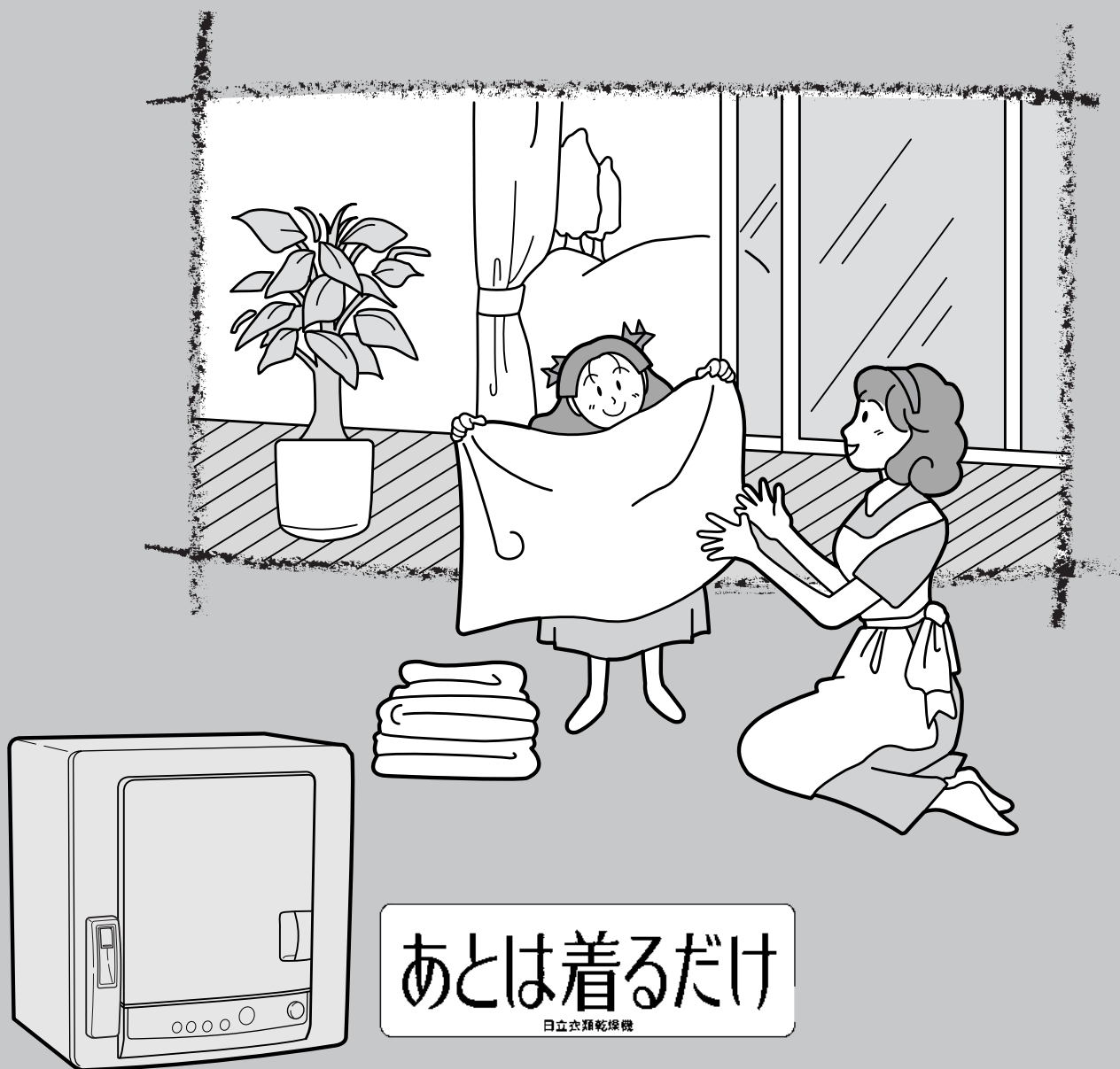
取扱説明書

日立除湿形電気衣類乾燥機

形名

DE-N55FX/DE-N45FX

あとは着るだけ

日立衣類乾燥機

このたびは日立除湿形電気衣類乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

特長

(☞ のあとの数字は主な説明のあるページです)

衣類に合わせて乾燥方式が選べる

1 ヒーター＆風の2way乾燥

☞ 23～25

省エネ・省時間で乾燥できる

2 仕上げコース

☞ 20～21

衣類についたたばこの臭いなどが取れる

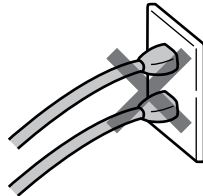
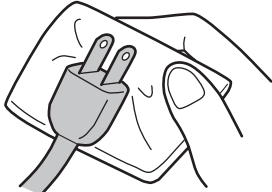
3 「消臭」コース

☞ 22

もくじ

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保存してください。

⚠ 警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う

- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

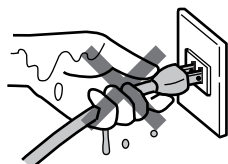
- 火災の原因になります。

浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない

- 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

⚠ 警　告

電源

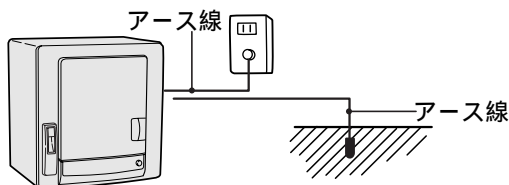
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない

●感電やけがをすることがあります。

注意

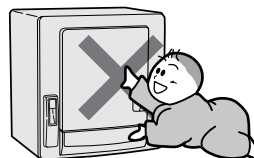
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●感電・ショート・発火の原因になります。

アース接続

アース線は必ず取り付ける

● アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

禁止

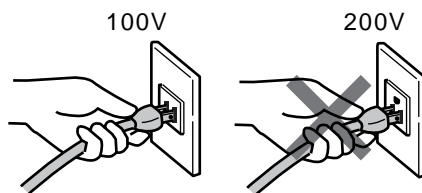
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

●やけど、感電、けがをする恐れがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

交流100V以外では使用しない

●火災・感電の原因になります。

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼する

●感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

禁止

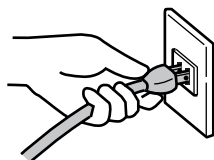
食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類、ズック、帽子などは洗濯後でも絶対に乾燥しない
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない

● 油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

安全上のご注意(続き)

⚠ 注　意

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

●感電やショートして発火することがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

運転中や運転終了直後は、ドラムや衣類の金属部(ファスナーや金属ボタン)、ドアの内側には触らない

●高温になっており、やけどをする恐れがあります。

スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンド台に付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定するまた、据え付けた乾燥機にぶらさがらない

●本体の落下によりけがをすることがあります。

禁止

本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない

●感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

禁止

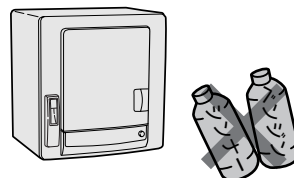
しずくのたれるような衣類を入れない

●感電の恐れがあります。

金属粉、金属片は衣類から取り除く

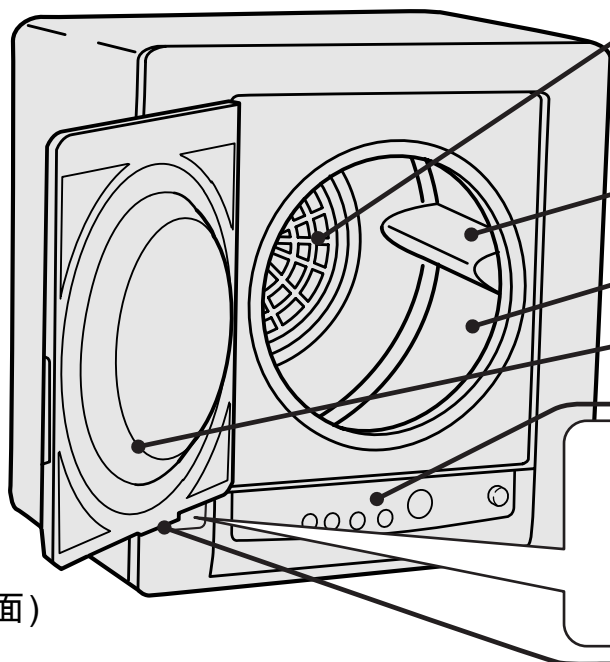
●感電の恐れがあります。

禁止

運転中はベンジン、シンナー、ガソリンなどの引火物を近づけない

●火災の原因になります。

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す

●手・指が巻き込まれて、けがをしたり、高温の衣類が飛び出してやけどをする恐れがあります。

各部のなまえ

糸くずフィルター
- 使用ごとに掃除してください。
☞30、31

リフタ

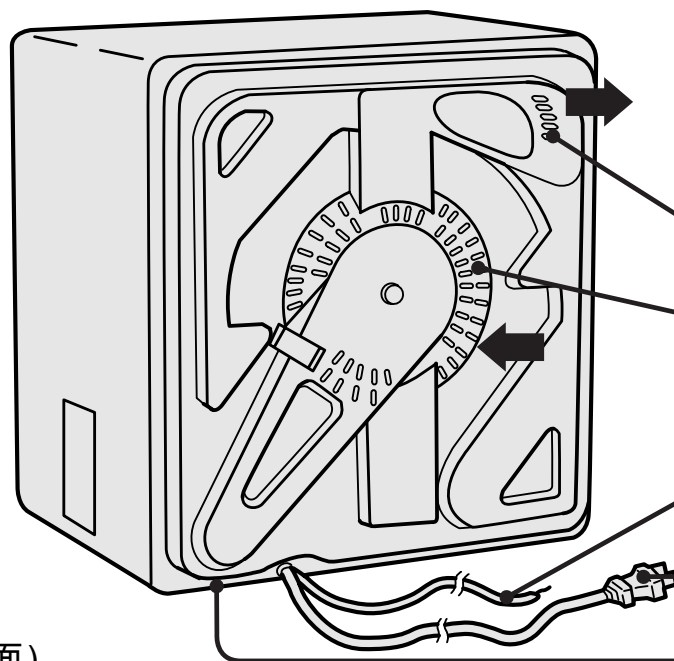
ドラム

ドア
ドアを開けると運転が止まります。

操作パネル
☞ 8～9

エアハッチ
☞20

磁石
ドアのこの部分に磁石が内蔵されています。磁気カード(キャッシュカードなど)を近づけないでください。カードが使えなくなることがあります。また、磁力により、金属片がこの部分に付くと運転しないことがあります。その場合は、金属片を取り除いてください。

(前面)

排気口

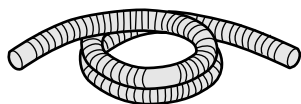
吸気口

アース線
☞33

電源プラグ

排水ホース接続口
☞35

(後面)

付　属　品

排水ホース
（長さ約1.5m、1本）

ホースクランプ
（1個）

ホースクリップ
（1個）

操作パネルのはたらき

進 行 表 示

乾燥の進み具合をコース名とランプの点滅でお知らせします。
●運転を一時停止したとき、ドアを開けたときは点灯になります。

●湿度センサーが衣類の量および質を検知しながら運転中

標準

●設定した運転コースの文字が点滅します。
●「あと10分」「ふんわりガード」時には、運転コースの文字は点灯します。

●衣類や本体を冷ますための送風運転中

あと10分

●送風運転はコースによって変わります。

コース	送風時間
干す前、15分	3分
標準、風乾燥(消臭)、仕上げ	5分
除菌、30分、60分	10分

フィルター目づまりサイン

フィルターの目づまりをランプの点滅でお知らせします。
●ランプが点滅したときは、必ずフィルターを掃除してください。☞30、31
●ランプが点滅中にドアを開けると、5秒間ブザーが鳴り、ランプが消えます。
●「干す前」「15分」「30分」「60分」「風乾燥(消臭)」コースのときは働きません。
●「入」にしたとき、フィルター目づまりサインのランプが点滅しブザーが鳴った場合は、フィルターが目づまりしていないか再度確かめてください。☞30、31

フィルター目づまり

ふんわりガードボタン

「ふんわりガード」は、乾燥が終了して2時間の間、約5分ごとに12秒の送風運転を繰り返して、衣類のふんわり感を保つ機能です。
☞13
●「干す前」「風乾燥(消臭)」コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。
●ボタンを押すとランプの消灯、点灯が切り換わります。
運転を省きたいときはランプを消します。
運転したいときはランプをつけます。

ヒーター切換ボタン

ボタンを押すごとに、ヒーターの強さが切り換わります。
☞27
●「強」、「弱」のランプが消えているときは、送風運転になります。
●運転をスタートすると、途中でヒーターの切り換えはできません。
●「強」、「弱」はメモリー機能が付いており、電源を入れると前回運転した方のランプが点灯します。

ハッチコースボタン

エアハッチを開いて運転するコースです。☞11
●ボタンを押すごとに、コースが切り換わります。
●「風乾燥(消臭)」コースはヒータ強弱のランプが消えます。
●運転をスタートすると、コースの切り換えはできません。

終了ブザーを鳴らしたくないときは
電源を入れ、スタートボタンを3秒以上押すと終了ブザーは鳴りません。　再び3秒以上押すと、元どおり鳴ります。（運転中は設定できません）

終了ブザーは運転が止まってしばらく(15秒以内)たってから鳴りだします。

コースボタン

エアハッチを閉じて運転するコースです。 ☞11
- ボタンを押すごとにコースが切り換わります。
- 「除菌(75°C)」コースは、自動的にヒーターの強さが「強」になります。
- 運転をスタートすると、コースの切り換えはできません。

スタート／一時停止ボタン

コースボタン、ハッチコースボタンで選んだコースで運転するときや一時停止させるときに使います。
- 運転途中でドアを開けたときは運転が止まります。運転を続ける場合には、再度ドアを閉め、スタートボタンを押してください。

図はDE-N55FX形の場合を示します。

電源スイッチ

スイッチを押すと「入」になります。
- 「乾燥」運転または「ふんわりガード」運転が終わったときや、「入」のままにしておくと、5分後に自動的に電源が切れます。（オートオフ機能）
- フィルター目づまりサインのランプが点滅しているときは、12時間後まで切れません。
- 「入」にしたとき、フィルター目づまりサインのランプが点滅しブザーが鳴った場合は、フィルターが目づまりしていないか再度確かめてください。 ☞30、31

前回ご使用時にフィルターが目づまりした場合、掃除しても電源スイッチを「入」にしたとき、再度確認のためフィルター目づまりサインのランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

- 「標準」「仕上げ」、「ヒーター」の強、「ふんわりガード」の運転有りを設定したとき2回続けて受け付け音がします。(基準点をお知らせするためです)

乾燥時注意が必要な衣類について

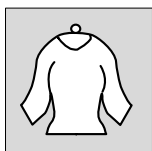
乾燥してはいけないもの

皮製品

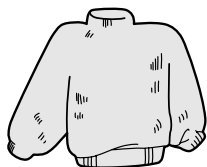
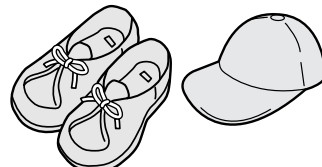
●縮みが大きくなったり形くずれの恐れがあります。

のり付けした衣類

●糸くずフィルターの目づまりの原因になります。

吊り干し、平干し表示のあるもの

「タンブラー乾燥禁止」表示のあるもの

「タンブラー乾燥」とは回転ドラム式乾燥機で乾燥することです。

セーター、カーディガン

ズック、スリッパ、帽子、ぬいぐるみ

ご注意

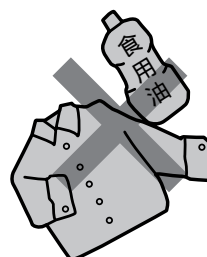
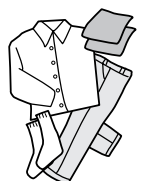
●取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニングに出すことをお勧めします。

洗濯物を入れる前に

⚠ 警　告

禁止

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しない。
また、スポンジの入ったものも絶対に乾燥しない。

●油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

●洗濯後でも油が残り、油の酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。また、プラスチック部品の変形などの故障の恐れがあります。

運転コースの選びかた

エアハッチを閉じての乾燥

●エアハッチを開けて運転すると、フィルター目づまりサインが点滅する場合があります。
エアハッチが閉じていることを確認してから運転してください。

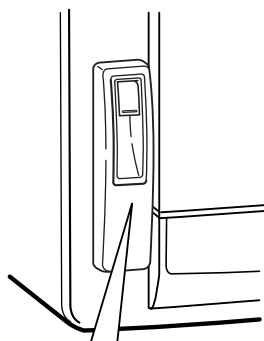
コース		内容	参照ページ
標準	エアハッチ閉	**普通に乾燥するとき** **普通の衣類、厚物・薄物衣類、毛布などの乾燥に使います。** ●衣類の質と量を検知して、乾燥します。	☞12
除菌(75℃)		**洗濯物の除菌効果を高めたいとき** **乾燥終了時に温風温度を高く(約75℃)保って、洗濯物の除菌効果を高めます。** **(ダニ・大腸菌など)** ●ヒーターは自動的に「強」になります。 ご注意 ●衣類の種類により、縮みが大きくなることがあります。 ●室温が約5℃以下のときは、自動的にヒーター「弱」で運転され除菌効果が低下することがあります。	☞14
干す前		**吊り干しする洗濯物の脱水後のしわをとりたいとき** ●衣類の量に関係なく10分間運転します。(ヒーター「弱」設定時は15分間運転) ご注意 ●運転終了後、洗濯物を入れたままにしないでください。故障の原因になります。	☞16
15分、30分、60分		**アイロン掛けに適した乾燥をしたいとき** **同類の素材のワイシャツ、ブラウスなどの乾燥に使います。** ●衣類の量、素材によって運転時間(15分、30分、60分)を選びます。	☞18

エアハッチを開いての乾燥

コース		内容	参照ページ
仕上げ	エアハッチ開	**吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき** **普通の衣類、厚物・薄物衣類などの乾燥に使います。**	☞20
消臭		**衣類についたたばこなどの臭いを取るとき** ●風乾燥運転を定時間(1時間)行い、ナノチタンフィルターにより、衣類についた臭いを取ります。	☞22
風乾燥		**熱に弱い衣類、縮みやすい衣類を乾燥したいとき** ●風乾燥運転を定時間(1時間/2時間)行います。 ●乾燥できる衣類の量は1kg以下(化繊混紡)です。	☞23

洗濯機で脱水した衣類を乾燥する

普通の衣類、厚物、薄物の衣類などを乾燥するとき

準備

エアハッチを閉じる

ご注意

- エアハッチはカチッと音がするまで閉じて運転してください。
- エアハッチを開けて運転するとエアハッチの側面に結露し、しずくがたれる場合があります。また、狭い部屋の場合などは、壁や窓に結露したり、温風で室温が上昇したりします。

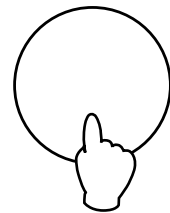
1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

1枚ずつよくひろげて！

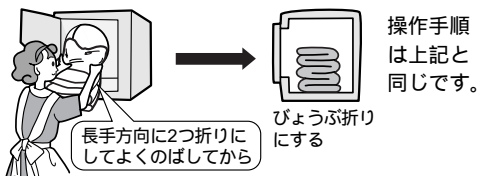
ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れて「標準」コースを選ぶ

電源 切/入

標準 15分
除菌（75℃） 30分
干す前 60分

毛布、肌掛けふとんを乾燥するとき

- 毛布または肌掛けふとんを2つ折りにし、びょうぶ折り状態にしてドラムに入れます。
- ヒーターを「弱」に切り換えます。

操作手順は上記と同じです。

お願い

- 毛布または肌掛けふとんの洗濯時には、静電気の発生を防ぐため「ソフト仕上剤」を使い、脱水は十分に行ってください。
- 毛布、肌掛けふとんは、ねじったり丸めて入れないでください。しわになる恐れがあります。
- 新しい毛布の場合、少し毛が抜けてフィルターにたまることがありますが、毛布のむだ毛です。

乾燥できる毛布・肌掛けふとんの種類と重さ

毛布

(手洗イ)と表示された、アクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

- 種類：マイヤー毛布、織毛物
- DE-N55FX ＊1枚の重さ：3.0kg以下
- DE-N45FX ＊1枚の重さ：2.6kg以下

ご注意

- 電気毛布は絶対に乾燥しないでください。
- 毛足が10mm以上のものは乾燥しないでください。

肌掛けふとん

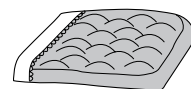
(手洗イ)と表示された中わたがアクリル、またはポリエステル100%のシングルサイズのもの。

- 大きさ：150cm×210cm以下
- 中わた重量：0.6kg以下

上手に仕上げるためのちょっとアドバイス

毛布

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 毛布は乾燥後、毛布用ブラシで一定方向に軽くブラッシングして、毛並みを整えます。

ブラシかけ方向
毛の方向

肌掛けふとん

- 乾きが足りないときは、反対側に2つ折りにして、もう一度乾かしてください。
- 反対に折り返すときは、ふとんを両側からつまんでほぐすと、ふっくらと仕上がります。

反対側に折り返して
両側からつまんでほぐす

(「標準」コース)

3 スタートボタンを押す

ご注意
- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

4 乾燥が終わったら衣類を取り出す

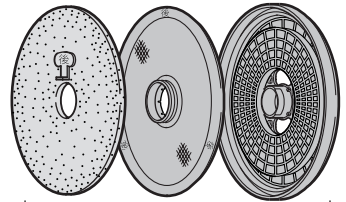
乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。静電気が気になるときは 28

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。30、31

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

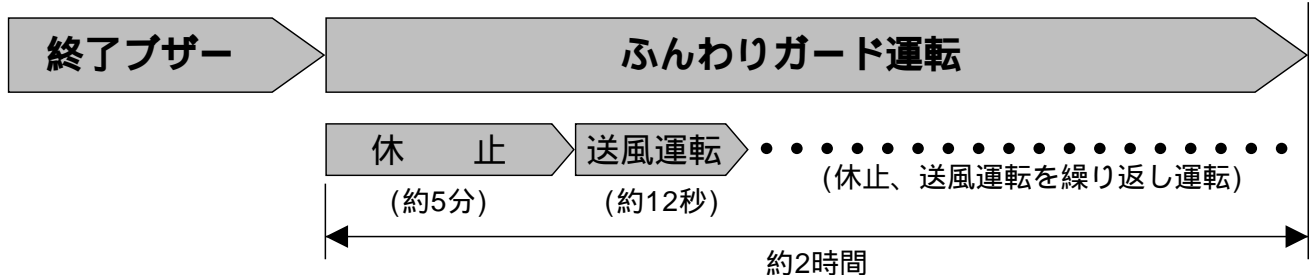
ふんわりガード運転について

「風乾燥(消臭)」、「干す前」、コースのときは、ふんわりガード運転は行いません。

終了ブザーが鳴り終わったら、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。
(「ふんわりガード」のランプが点滅します)
＊「ふんわりガード」のランプが消えているときは、「ふんわりガード」運転は行われません。

終了ブザー → ふんわりガード運転

休　止 (約5分) → 送風運転 (約12秒) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (休止、送風運転を繰り返し運転)

約2時間

「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

除菌効果を高めた乾燥をする

普通の衣類、厚物、薄物の衣類などを乾燥するとき

準備

ご注意

- エアハッチはカチッと音がするまで閉じて運転してください。
- エアハッチを開けて運転するとエアハッチの側面に結露し、しずくがたれる場合があります。また、狭い部屋の場合などは、壁や窓に結露したり、温風で室温が上昇したりします。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れて「除菌(75℃)」コースを選ぶ

電源 切/入

標準	15分
除菌(75℃)	30分
干す前	60分

- ヒーターは自動的に「強」になります。

「除菌(75℃)」コースについて

●コースの内容について

「除菌(75℃)」コースでは、乾燥運転終了時にドラム内の温風温度を高く(約75℃)保つことにより、衣類の除菌効果を高めた運転をするものです。

ご注意

- 衣類の量が多いときなど条件によっては、75℃まで温度が上がらない場合もあります。

(「除菌(75℃)」コース)

3 スタートボタンを押す

ご注意

●運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

4 乾燥が終わったら衣類を取り出す

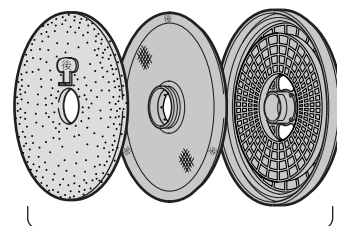
乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。
静電気が気になるときは☞28

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞30、31

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

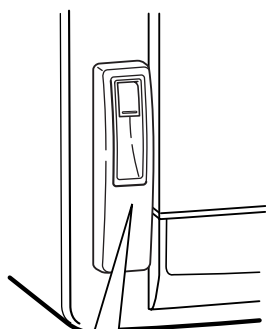
●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

吊り干し前に衣類のしわとり乾燥をする

吊り干し前に洗濯じわをとりたいとき

●吊り干し前に洗濯・脱水によるしわを少なくする運転をします。

準備

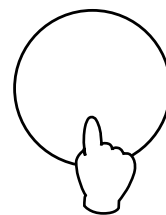
ご注意

- エアハッチはカチッと音がするまで閉じて運転してください。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れて「干す前」コースを選ぶ

電源 切/入

標準　15分
除菌(75℃)　30分
干す前　60分

「干す前」コースの上手な使いかた

●運転できる衣類の量

●DE-N55FX：約3.3Kg以下での運転をお勧めします。
●DE-N45FX：約2.7Kg以下での運転をお勧めします。
（衣類の量がこれより多いとしわとりの効果が少なくなります。）
洗濯じわの出やすい綿などの衣類が効果的です。

ご注意

次の場合、しわの原因となりますのでご注意ください。
- 洗濯、脱水終了後、衣類を放置しないでください。
- 「干す前」コース終了後、衣類を放置しないでください。

(「干す前」コース)

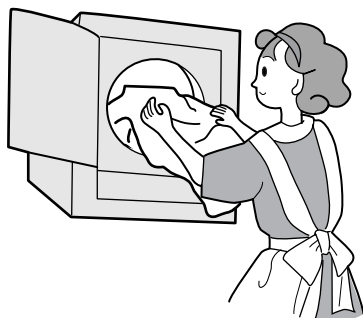
3 スタートボタンを押す

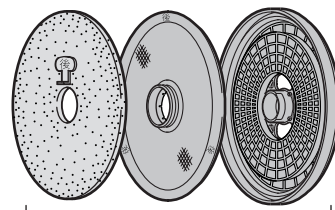
- ヒーター「強」設定時は10分間、「弱」設定時は15分間運転します。

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

4 乾燥が終わったら衣類を取り出す

乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。運転が終わったら、すぐに衣類を取り出して吊り干ししてください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。

☞ 30、31

⚠ 注　意

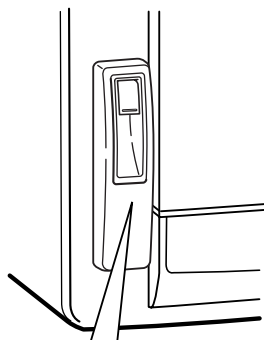
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

ワイシャツのシワ付きをおさえて乾燥する

ワイシャツなどをあとでアイロン掛けをするとき

●アイロン掛けに適した湿り気のある状態で終了します。
●衣類の量、素材によって運転時間(15分、30分、60分)を選びます。

準 備

ご注意

● エアハッチはカチッと音がするまで閉じて運転してください。
● エアハッチを開けて運転するとエアハッチの側面に結露し、しずくがたれる場合があります。また、狭い部屋の場合などは、壁や窓に結露したり、温風で室温が上昇したりします。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

● ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
● ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
● 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 電源スイッチを入れて「15分」または「30分」「60分」コースを選ぶ

電源 切/入

標準 15分
除菌(75℃) 30分
干す前 60分

● 運転時間は下の表を目安に選んでください。

運転時間の目安

●衣類の素材、枚数によって運転時間を選んでください。

素材	枚数	ヒーター 強	ヒーター 弱
綿100%	1枚	15分	30分
	3枚	30分	60分
	5枚	60分	ー
化繊混紡 綿40% ポリエステル60%	1枚	ー	15分
	3枚	15分	30分
	5枚	30分	60分

● ヒーター強／弱は、衣類の種類で選んでください。 ☞27

ご注意

● 違う素材の衣類を混ぜて運転すると、乾きすぎてしまう場合があります。
同類の素材をまとめて運転するようにしてください。

(「15分」「30分」「60分」コース)

3 スタートボタンを押す

- 「15分」「30分」「60分」コース それぞれ15分間／30分間／60分間運転します。

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

4 乾燥が終わったら衣類を取り出す

運転が終わったら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また、「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。
静電気が気になるときは☞28

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

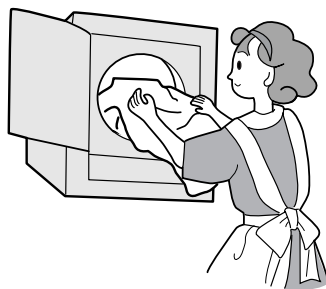
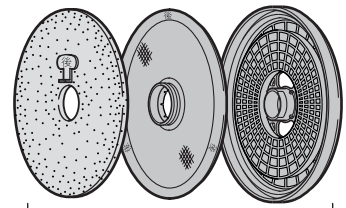
お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞ 30、31

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使いかた

吊り干しした衣類を仕上げ乾燥する

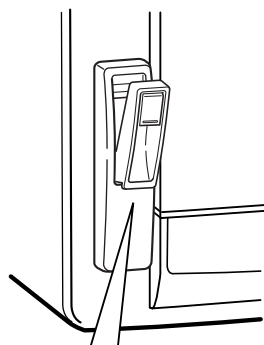
吊り干し後の生乾きやしめっぽい衣類を仕上げ乾燥するとき

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 エアハッチを開く

ご注意

- エアハッチは、手前に当たるまで開いてください。
- エアハッチに無理な力を加えないでください。
- クリップ、針などの小さいものを入れないでください。エアハッチ故障の原因になります。

3 電源スイッチを入れて「仕上げ」コースを選ぶ

電源 切/入

仕上げ

風乾燥（消臭） 1時間 2時間

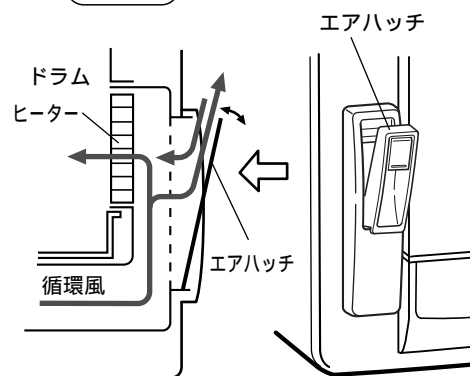
ハッチコース

「エアハッチ」について

「エアハッチ」とは？

エアハッチとは、本体左下部にあるふたのことです。
このエアハッチが開くことで、ドラム内の空気を、外の乾いた空気と入れ換えながら効率よく運転するので早く乾きます。

ご注意

- **エアハッチを開いているときは、ハッチカバーから温風が出ていますので、顔や手を近づけないように注意してください。**
  また、ハッチカバーの表面（温風吹出口）に水滴が付くことがありますが、これは衣類の水分が蒸発して付着したもので故障ではありません。
- 洗濯機で脱水した衣類をそのまま乾燥するときは、エアハッチを閉じて「標準」コース(☞**12**)で運転してください。

(「仕上げ」コース)

4 スタートボタンを押す

ご注意

- 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、本体や衣類が熱いことをお知らせします。

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

乾いたら終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。また「ふんわりガード」が設定されている場合は、自動的に「ふんわりガード」運転に入ります。「ふんわりガード」運転中は、いつでも衣類を取り出せます。
静電気が気になるときは**☞28**

ご注意

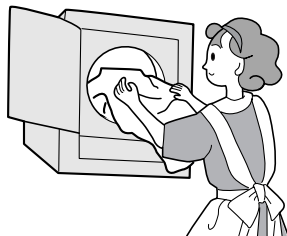
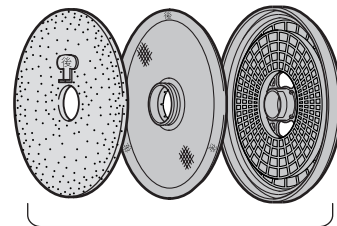
- 運転終了後は、エアハッチを閉じてください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。
☞ 30、31

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

衣類についた臭いを取る(「消臭」コース)

衣類についたたばこなどの臭いを取るとき

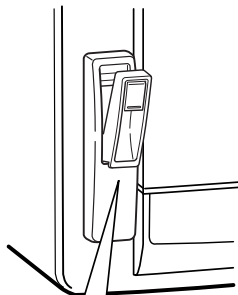
●ナノチタンフィルターにより、衣類についたたばこなどの臭いを取ります。

1 乾いた衣類をドラムに入れ、ドアを閉じる

1枚ずつよくひろげて！

ご注意

- ドアに衣類をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 衣類は一枚ずつ広げてください。

2 エアハッチを開く

エアハッチを開く

ご注意

- エアハッチは、手前に当たるまで開いてください。
- エアハッチに無理な力を加えないでください。
- クリップ、針などの小さいものを入れないでください。エアハッチ故障の原因になります。

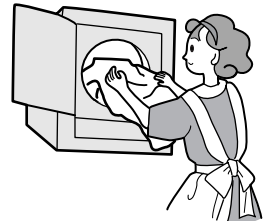
3 電源スイッチを入れ、「風乾燥(消臭) 1時間」コースを選び、スタートボタンを押す

電源 切/入

仕上げ
風乾燥(消臭) 1時間 2時間

4 運転が終わったら

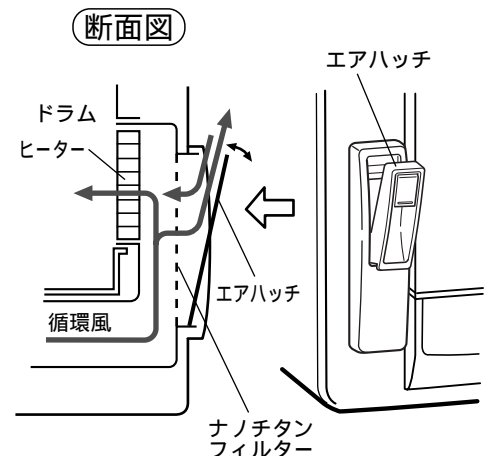
運転が終わったら終了ブザーが12秒間鳴り、運転終了をお知らせします。運転が終わったら、早めに衣類を取り出してください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

- 糸くずフィルターの掃除も忘れないでください。30、31

「消臭」コースの運転内容

- エアハッチ部に取り付けたナノチタンフィルターで、衣類についたたばこなどの臭いを取ります。
- 消臭効果が足りないと感じた場合には、再度「風乾燥(消臭) 1時間」コースを運転してください。

断面図

熱に弱い衣類を乾燥する(「風乾燥」コース)

熱に弱いデリケートな衣類などを乾燥するとき

- エアハッチを開いて運転するコースです。
- 乾燥できる衣類の量は1kg以下です。(化繊混紡)
- 熱に弱い水着やウレタン素材が入った下着を、ヒーターを使わないで乾燥します。
- ヒーターを使わないので、省エネで乾燥できます。

乾燥できるもの

- (　)内は1枚あたりの重さの目安です。洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって重さは変わります。
- ブラジャーやキャミソールなど、ひものついているものはネットに入れてください。

乾燥できる容量と乾燥時間の目安

単独衣類の場合(1時間コース)

種　類	枚数と容量
ブラジャー	2枚(約160g)
キャミソール	2枚(約100g)

組み合わせ衣類の場合(2時間コース)

種　類	枚数と容量
スカーフ ブラウス タイツ ブラジャー	2枚 2枚 2枚 2枚　(約560g)
ブラウス カットソー キャミソール	4枚 2枚 3枚　(約1kg)

ご注意

風による乾燥のため運転終了時の衣類は、季節や手の温度、設置条件により感触が変わります。
(乾燥していても衣類の温度が低く、乾いていないと感じる場合があります)

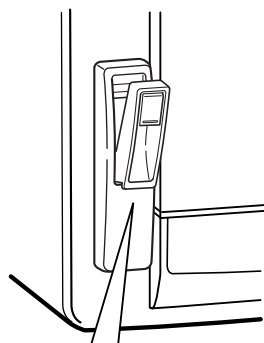
熱に弱い衣類を乾燥する

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉じる

ご注意

- ドアに洗濯物をはさまないでください。ドアパッキン破損の原因となります。また、ドアに無理な力を加えないでください。
- ライターやマッチなどの抜き忘れがないか確認してください。
- 洗濯物は一枚ずつ広げてください。

2 エアハッチを開く

ご注意

- エアハッチは、手前に当たるまで開いてください。
- エアハッチに無理な力を加えないでください。
- クリップ、針などの小さいものを入れないでください。エアハッチ故障の原因になります。

3 電源スイッチを入れて「風乾燥」コースを選ぶ

電源 切/入

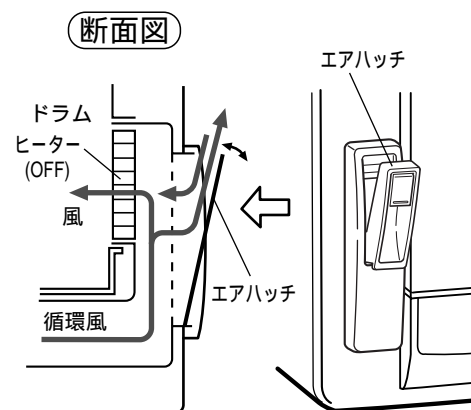
仕上げ

風乾燥（消臭） 1時間 2時間

「風乾燥」コースの運転内容

●運転中ヒーターを使わないで設定時間運転します。
●ヒーターを使わず、エアハッチを開いて外気を取り込んで衣類を乾燥させるので、熱に弱い衣類の乾燥におすすめです。

ご注意

- **定時間運転するコースのため、衣類の乾きに関係なく終了します。**
  衣類の量・種類・気温・湿度・季節・設置環境によって乾燥不足になることがあります。乾きむらがあるときは再度「風乾燥1時間」コースを運転してください。
- **エアハッチを閉じて「風乾燥」コースを運転すると、衣類は乾きません。エアハッチを開いて運転してください。**

(「風乾燥」コース)(続き)

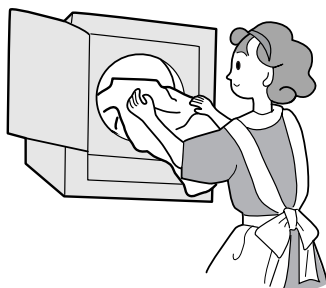
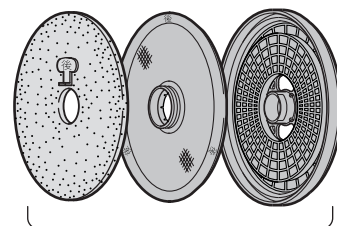
4 スタートボタンを押す

ご注意

● 運転途中にドアを開けると、ブザーが鳴り、ドラムが止まるまで手を入れないよう注意のためのお知らせをします。

5 乾燥が終わったら衣類を取り出す

設定した時間が経過すると、終了ブザーが12秒間鳴り、乾燥終了をお知らせします。

静電気が気になるときは**☞28**

ご注意

● 運転終了後は、エアハッチを閉じてください。

⚠ 注　意

ドラムの回転が止まってから衣類を取り出す。

お手入れ

糸くずフィルターを掃除する。☞30、31

⚠ 注　意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

● 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使いかた

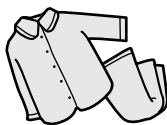
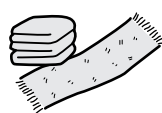
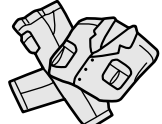
「風乾燥」コースの上手な使いかた

●乾燥できる衣類の量

化繊混紡の衣類の組み合わせで1kg以下。**☞23**

- **衣類の量が多い場合や、綿100%や綿の割合が多い混紡の衣類などは乾かないで終了することがあります。**

●薄物、傷み・からみやすいものはネットに入れてください。

●運転が終わったら早めに衣類を取り出してください。

●おすすめできない衣類

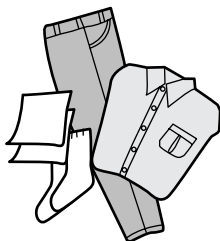
- **取扱絵表示に** ヨ ワ ク **がある衣類**
- **型くずれしやすい衣類**
- **皮革製品、皮革装飾品**

乾燥量と時間の目安

DE-N55FX 乾燥量 乾燥時間			DE-N55FX 枚数	衣類の種類と重さ	DE-N45FX 枚数	DE-N45FX 乾燥量 乾燥時間		
			4足	ソックス (木綿　約 50g)	4足			
		約1.6kg 約75分	4枚	ブリーフ (木綿　約 50g)	4枚	約1.6kg 約75分		
			4枚	長袖アンダーシャツ (木綿　約150g)	4枚			
			3枚	ブラウス (混紡　約200g)	3枚			
	約 3 kg 約120分		2組	パジャマ(上下) (木綿　約500g)	2組		約 3 kg 約120分	
			2枚	ワイシャツ (混紡　約200g)	2枚			
			6枚	タオル (木綿　約 50g)	8枚			約4.5kg 約150分
約5.5kg 約180分			2枚	バスタオル (木綿　約300g)	1枚			
			2組	作業着(上下) (混紡　約800g)	1組			

乾燥時間は洗濯物の種類、脱水のしかた、気温などで変わります。

- 上の表は、「白い約束」日立全自動電気洗濯機で洗濯したものを「標準」コースで乾燥したときの目安です。(室温20℃、ヒーター「強」、エアハッチを閉じた場合)
- 乾燥時間は室温が1℃下がるごとに、約1分長くなります。
- 室温が約5℃以下のときは自動的にヒーター「弱」(表示は変わらず)で運転され、乾燥時間がさらに長くなることがあります。
- 大物(シーツなど)は、丸まったりして乾燥時間が長くなることがあります。
- しわを少なくするためには、標準乾燥容量(DE-N55FXは5.5kg/DE-N45FXは4.5kg)の半分ぐらいでの乾燥をお勧めします。または、ふんわりガード運転や乾燥が終わったら早めに取り出すことをお勧めします。

ヒーター切換ボタンの使いかた

強	弱
普通の衣類	**毛布、肌掛けふとんやデリケートな化繊の薄物など**
●「除菌(75℃)」コースのときは自動的にヒーターが「強」になります。	

- **ヒーター「強」「弱」はメモリー機能が付いており、電源を入れると前回運転した方のランプが点灯します。**
- **風乾燥コースではヒーター切換ボタンは受け付けません。**

衣類の縮みについて

衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけで縮むものがありますが、乾燥機を使用するとさらに縮みが大きくなるものもあります。

●縮みの程度は1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まります。

縮みやすいもの		縮みにくいもの	
サマーセーター	**運動用ソックス**	**ワイシャツ**	**ブラウス**
綿や麻のニット製品など	**ポリウレタン混紡の製品など**	**綿、混紡などの織物**	**ポリエステル製品など**

●縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。

●縮みやすい衣類の例

・ウールや綿のセーターでリブ編みのもの

縮みについての上手な対応

●乾燥前に衣類の絵表示・材質表示をよく確認します。

●天日乾燥を上手に併用します。(例えば、天日乾燥したものの仕上げに乾燥機を使うなど)

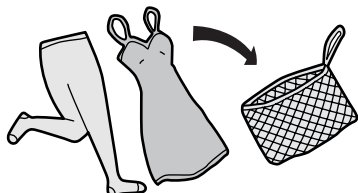
●「風乾燥」コース☞ **23**を利用します。

●縮みやすいものについては、できればあらかじめひと回り大きめの衣類のご購入をお勧めします。

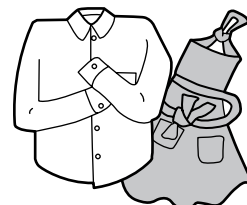
上手にお使いいただくために

布傷みや布がらみを少なくするには

薄物、傷み・からみやすいものはネットに入れる

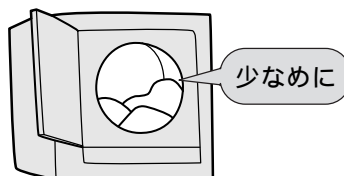
また、ひものついているブラジャーなどもネットに入れます。

●布傷みや引っ掛かりを防ぎます。

ファスナー・ボタンなどは、閉じて裏返す

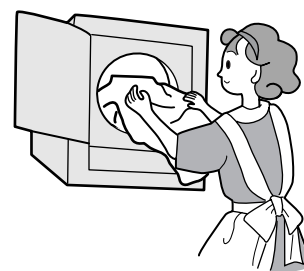
エプロンなど、ひもの付いているものは結びます。またワイシャツなどは、そでのボタンを身ごろのボタン穴に止めます。

●布傷み・布がらみ・たたき音が少なくなります。

しわを少なくするには

洗濯物は少なめで乾燥させる

**標準乾燥容量
(DE-N55FXは5.5kg
DE-N45FXは4.5kg)
の半分ぐらいにすると、しわが少なくなります。**

1枚ずつよく広げてから入れる

乾燥が終わったら早めに取り出す

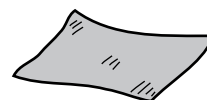
運転終了ブザーが鳴ったら、できるだけ早めに取り出します。

「ふんわりガード」運転中にドアを開けると、運転は終了します。

衣類の毛玉や静電気を少なくするには

毛玉の気になるものは裏返しにする

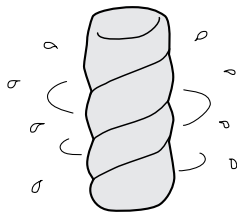
静電気防止用シートなどを使う

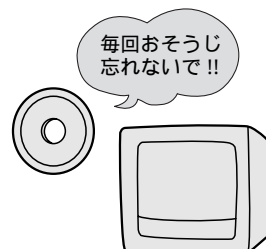
洗濯時に市販のソフト仕上剤、または乾燥時に市販の静電気防止用シートをご使用ください。

ソフト仕上剤

静電気防止用シート

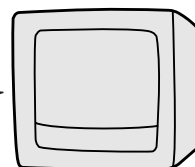
電気代を節約するには

乾燥の前に脱水を十分に行う

- 乾燥時間が短くなり、経済的です。
- 高速回転脱水の洗濯機と組み合わせてお使いになると、より経済的です。

糸くずフィルターを毎回掃除する

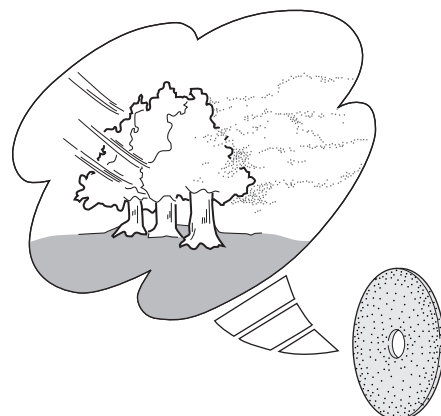
フィルターがつまっていると、運転時間が長くなります。ご使用前には、毎回掃除しましょう。

天日や室内で干したあとに「仕上げ」コースで運転する

☞20

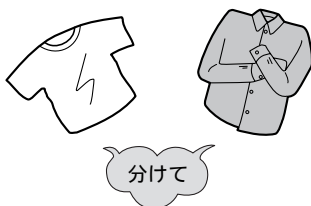
衣類をふんわり仕上げ、電気代も節約できます。

外に干した衣類に付着した花粉を取り除くには

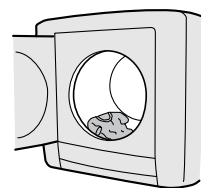
別売りの静電フィルターを使用します ☞40

- 静電フィルターを取り付け、外で干した衣類を乾燥機に入れ、ヒーターを「弱」にして「仕上げ」コースで運転します。☞20
  ※静電フィルターの取り付けかたとお手入れのしかたは、静電フィルターの取扱説明書をご覧ください。

- 洗濯した衣類をそのまま乾燥するときには使用しないでください。乾燥時間が長くなります。また、静電フィルターの寿命を早めます。
- フィルターを絶対に水洗いしないでください。静電気の働きが弱くなります。

乾きむらを少なくするには

生地によって分けて乾燥する

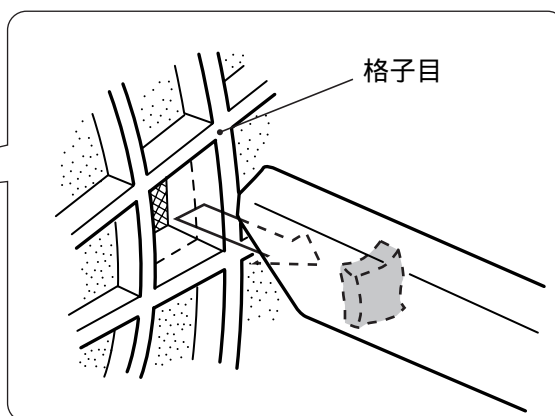
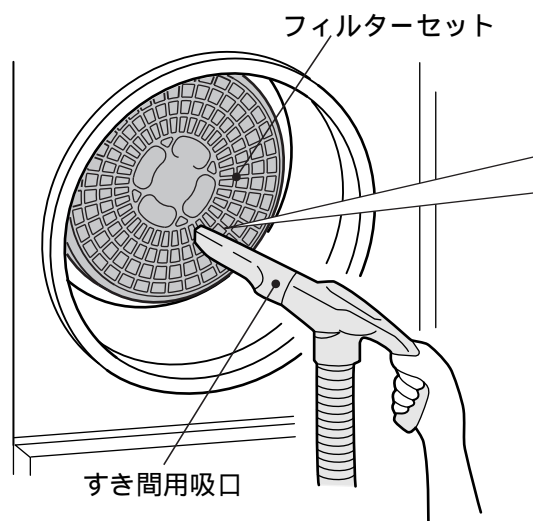
化繊と木綿、薄物と厚物などは、分けて乾燥させます。

- 乾きむらが少なくなり、再乾燥によるむだが省けます。乾きが足りないときは、「仕上げ」コースでもう一度乾燥させます。
- 混合して乾燥する場合は少なめにして乾燥してください。

洗濯物が極端に少ないとき (約500g以下)

- 洗濯物が極端に少ないときは乾きが足りないことがあります。
  乾いたタオルなどをいっしょに入れると乾きむらが少なくなります。
- 乾きが足りないときは、「仕上げ」コースでもう一度乾燥します。

お手入れのしかた

糸くずフィルター(簡単なお掃除) ご使用後は必ずお掃除してください。

フィルターセットの格子目にたまった糸くずを、掃除機で吸い取ってください。

- フィルターセットをドラム内に取り付けたままでも、取り外してもお掃除できます。

- すき間用吸口で糸くずが取れにくいときは、延長管の先端などで吸い取ってください。

ご注意

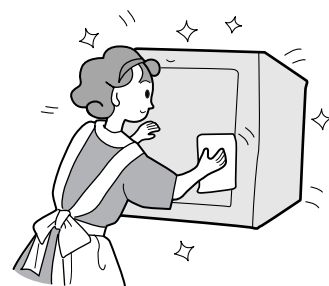
- 1か月(約30回)ごとにフィルターセットを取り外して、念入りにお掃除してください。(☞**31**) 目づまりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理が必要になります。また、乾燥時間も長くなります。

本体

- 開梱時、プラスチック部品にほこりがついている場合がありますが、倉庫保管時についたものです。柔らかい布でふき取ってください。
  また、使用中についた汚れも柔らかい布でふき取ってください。

⚠ 注 意

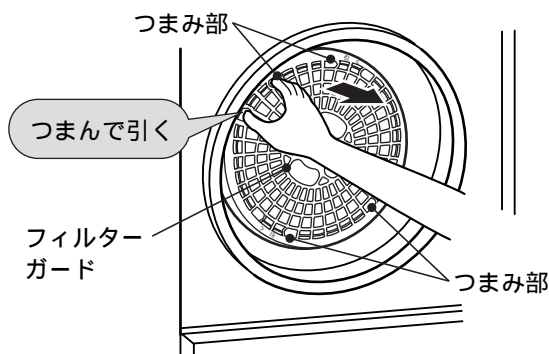
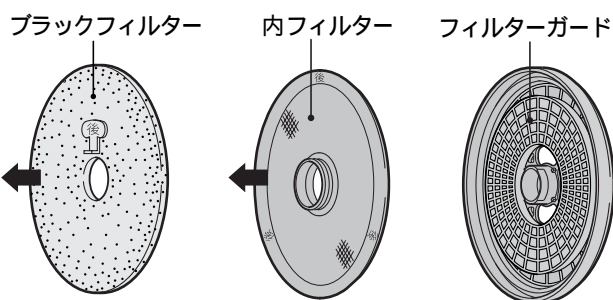
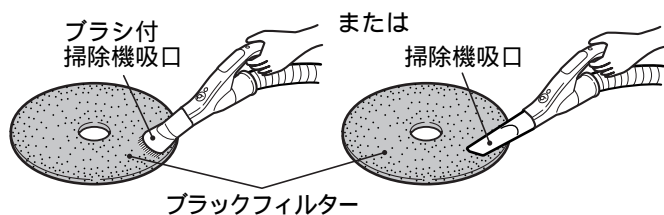
禁止

本体やドラムに水をかけたり、水洗いをしない。
- 感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

- 吸気口、排気口にごみがつまったときは、掃除機などで吸い取ってください。

- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックス、弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすったりしないでください。塗装やプラスチック部品を傷めます。

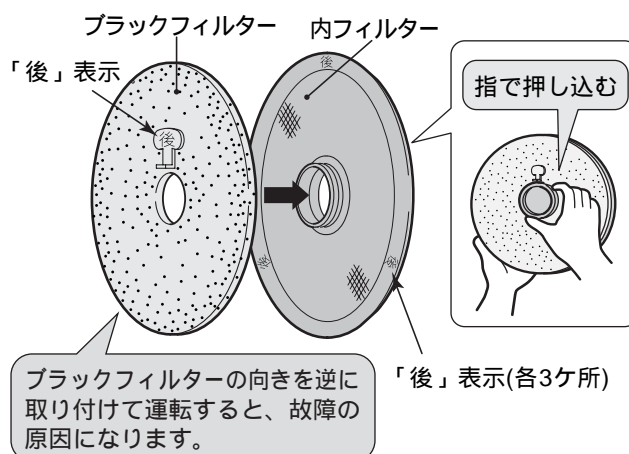
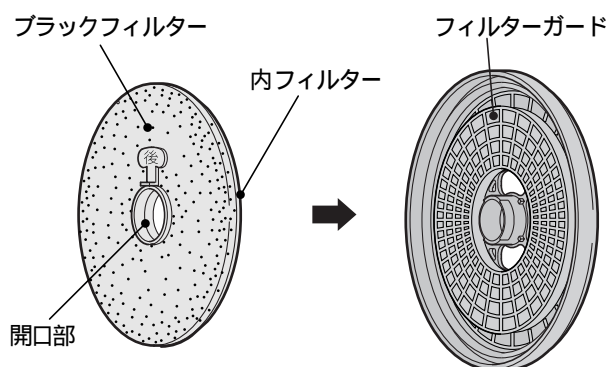
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

糸くずフィルター(念入りなお掃除) 1か月(約30回)ごとに必ず念入りにお掃除してご使用ください。

1 **フィルターセットを外す。**
●外周部のつまみ部をつまんで引きます。

2 **フィルターガードと、フィルターを分離する。**
● 内フィルターとブラックフィルターを外し、糸くずを捨てます。

3 **フィルターを掃除する。**
● ブラックフィルターに入り込んだ糸くずを、掃除機吸口で軽くたたき出すようにして吸い取ります。

内フィルター、バックフィルターが、粉状のほこりで目づまりしているとき

● 水道の水を流しながら、柔らかいブラシで表面をかるくこすって洗い、そのあと十分に乾かします。
● 水を湿らせた柔らかい布でふきます。

● フィルターガードの汚れが目立ってきたら、水洗いしてください。

4 **元どおりに取り付ける。**
● まずブラックフィルターを内フィルターへ、「後」の文字が見えるように取り付けます。

● ブラックフィルターを取り付けた内フィルターの開口部を、フィルターガード中央に合わせて取り付けます。

● フィルターセットをバックフィルターに取り付けます。

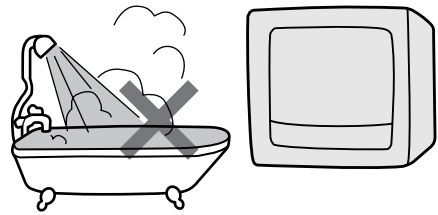
ご注意
● フィルターは必ず元に戻してください。
● 目づまりしたまま使用すると、機体内部の温度が通常より高くなり、故障したり、機体内部にほこりがたまり、修理が必要になります。また乾燥時間も長くなります。

据え付け

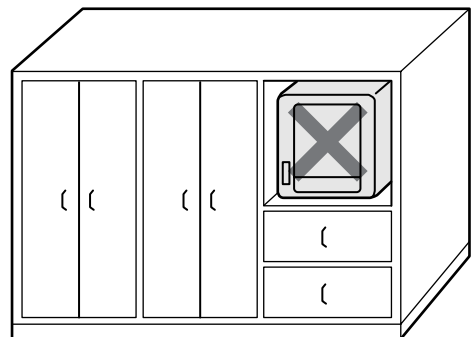
据え付け場所と換気

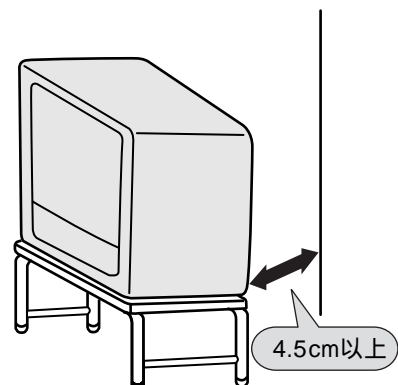
⚠ 警　告

水場禁止

浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない。
●感電・火災・故障・変形の恐れがあります。

■**直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。**
●本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

■**有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を扱う場所では使用しないでください。**
●引火したりプラスチック部品が故障する恐れがあります。

■**クローゼット(密閉した収納庫など)では使用しないでください。**
●温風で収納庫内の温度が上昇し、本体の温度が異常に高くなり、変形などの故障の原因になります。

■**使用中は、近くの窓を開けるか、換気扇を回すなどをして換気をよくしてください。**
●除湿タイプですので湿気はあまり出ませんが、狭い部屋の場合などは湿度が上昇することがあります。また温風で室温が上昇します。

■**本体は壁などからできるだけ離して設置してください。**
壁や天井から両側面、背面、上面は4.5cm以上、下面は10cm以上できるだけ大きく離してください。
また上記空間を確保してもクローゼットなどでうめ込んでの使用はしないでください。
●除湿性能が悪くなったり、故障の原因になります。

電源(コンセント)について

⚠ 警　告

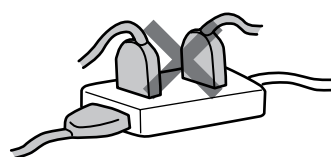
電源

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
●他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠ 警　告

禁止

交流100V以外では使用しない。
●火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
●感電・ショート・発火の原因になります。

●テーブルタップによるタコ足配線は絶対にしないでください。コードや配線器具の過熱の恐れがあります。
●延長コードは使用しないでください。過熱の恐れがあります。
●コンセントの差し込みがゆるいときは、販売店または電気工事店にご相談のうえ、電気工事をしてください。

アース線の取り付け

⚠ 警　告

アース接続

アース線は必ず取り付ける。
●アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

■アース線は必ず取り付けてください。

●万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
●設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを必ず行ってください。

アース端子がある場合

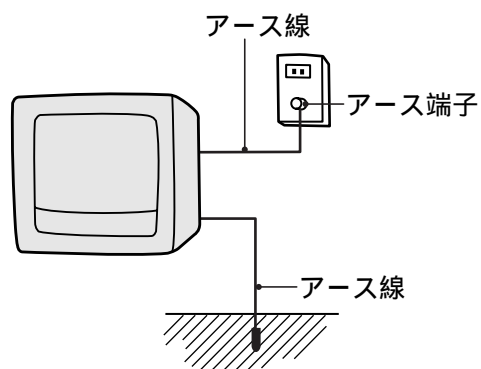
アース線をアース端子に確実に取り付けてください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

●電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。

ご注意

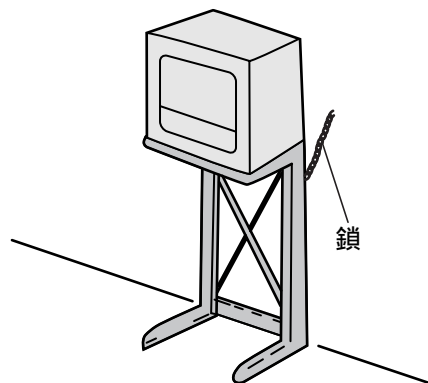
次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)
●ガス管、電話線、避雷針、水栓
水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。

据え付け(続き)

据え付けかた　別売りのスタンドまたは壁掛金具を使用します。

■スタンドに取り付ける場合

1 後方に倒れないように、必ず壁のすぐ前に設置し、スタンドを付属の鎖で壁などにつなぐ。

2 本体をスタンドに載せたあと、スタンドに付属しているねじで固定する。

(詳しくは、スタンドの組立説明書をご覧ください)

のびのびスタンド(DES-75形など)への設置について

のびのびスタンド(DES-75形など)へ設置する場合のスタンドの上棚の奥行
- DE-N55FXの場合：上棚の側面の刻印4に合わせて固定してください。
- DE-N45FXの場合：上棚の側面の刻印2に合わせて固定してください。

上棚の奥行の調節のしかたは、スタンドの組立説明書をご覧ください。

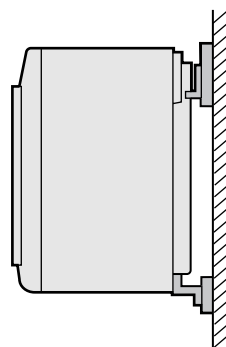
⚠ 注　意

スタンド(ユニット台)に載せて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖(スタンド台に付属)にて壁や柱につないで、乾燥機本体はスタンド(ユニット台)にねじで固定する。また、据え付けた乾燥機にぶら下がらない。
- 本体の落下によりけがをすることがあります。

■壁に取り付ける場合

1 壁掛金具DEW-6を使用する。

2 壁が100kg以上の重量に耐えることを確認する。

(詳しくは、壁掛金具の取り付け用説明書をご覧ください)

排水ホースの取り付けかた

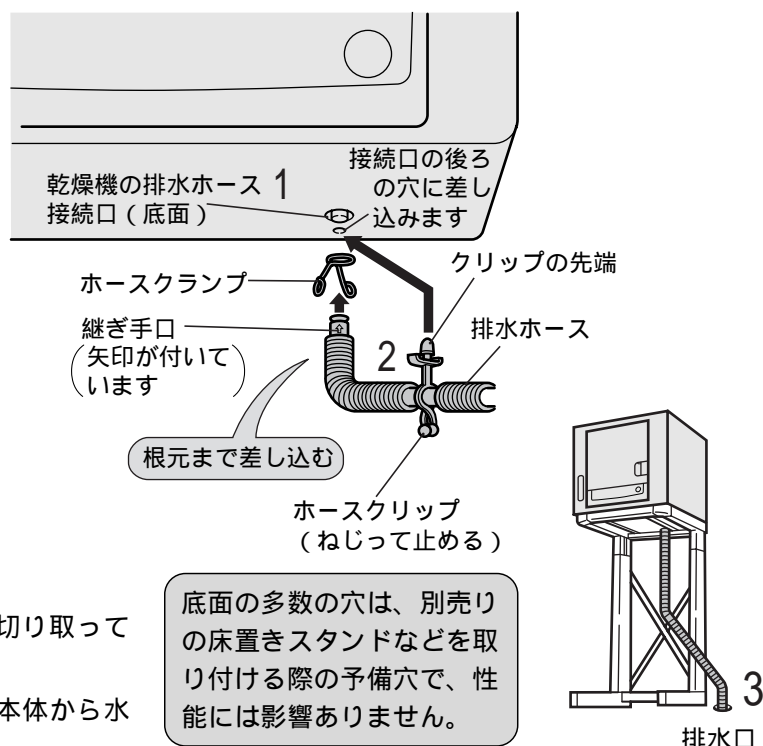
1 **排水ホースの継ぎ手部を、乾燥機の排水ホース接続口の根元まで差し込み、ホースクランプで固定する。**

2 **ホースクリップで排水ホースをはさみ、クリップの先端を本体の穴に差し込む。**

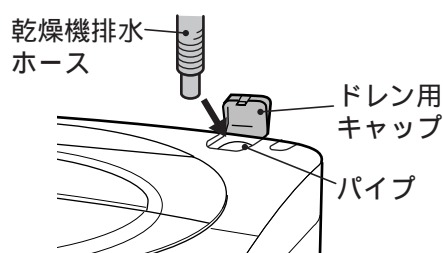
- のびのびスタンド(DES-75形など)に据え付けるときはホースクリップを使用しません。

3 **排水ホースを排水口に差し込む。**

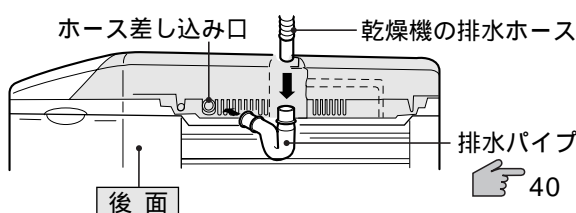
- 排水ホースが長いときは、先端部を切り取ってたるまないようにします。
  途中にたるみがあると排水できず、本体から水漏れすることがあります。

底面の多数の穴は、別売りの床置きスタンドなどを取り付ける際の予備穴で、性能には影響ありません。

■洗濯機に排水ホースを接続する場合

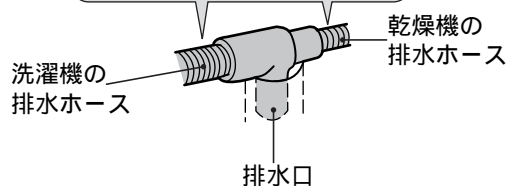
洗濯機に直接排水ホースが接続できるものもありますので、洗濯機の取扱説明書をご覧ください。

●全自動洗濯機をご使用の場合

●2槽式洗濯機をご使用の場合

排水パイプが必要となる洗濯機がありますので、必ず2槽式洗濯機の取扱説明書をご覧ください。

☞40

■排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続する場合

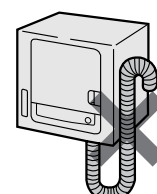
別売りのL形排水継ぎ手をご使用ください。

☞40

■排水口がない場合

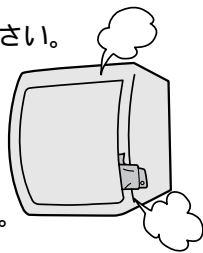
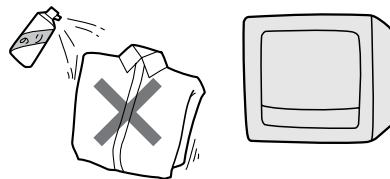
バケツなどに排水してください。

- 5.5kgの洗濯物(生地：木綿)を乾燥した場合、排水量は約2.8L(リットル)です。(DE-N55FX)
- 4.5kgの洗濯物(生地：木綿)を乾燥した場合、排水量は約2.3L(リットル)です。(DE-N45FX)

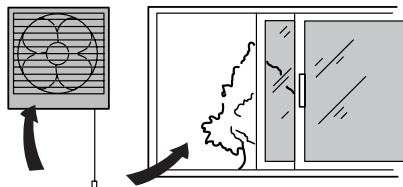
ご注意

- 排水ホースは必ず乾燥機の底面より低い位置に設置してください。
  凍結や機体内部の水漏れを防ぐためです。

使用上のご注意

洗濯物を入れすぎない

- 衣類の目安は、P26を参照してください。
- 乾燥時間が長くなったり、乾きむらになったり、運転途中で異常報知をすることがあります。
☞37
- ドアの変形や故障の原因になります。

のり付けした衣類は乾燥しない

- 洗濯時にのり付けした衣類も乾燥しないでください。
- 糸くずフィルターの目づまりの原因になります。

運転中の換気は十分に

衣類を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。

- 換気が不十分な場合は、温度差によって窓や壁などが結露する場合があります。

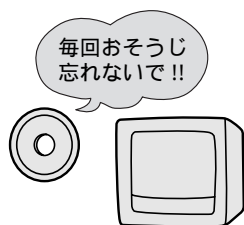
漂白剤などを使用したとき

洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでから乾燥してください。

- 洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めます。

糸くずフィルターは毎回掃除する

☞30、31

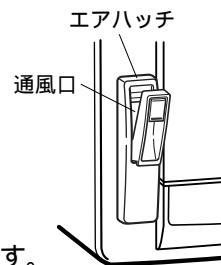
- 糸くずフィルターが目づまりすると、故障の原因になります。

ドアを確実に閉めてから運転する

- ドアが確実に閉まっていないと、衣類が飛び出したり、ドラム内の湿気が漏れて、ドアの裏面や周囲などに結露し、しずくがたれる場合があります。

エアハッチを開いて、洗濯機で脱水した衣類を乾燥しない

- 湿気の排出量が増えて、窓などに結露することがあります。
- エアハッチ表面に結露し、しずくがたれる場合があります。

エアハッチ通風口にものを入れない

- クリップ、針などの小さいもの、ドライバーなどの細長いものを入れないでください。
- エアハッチに無理な力を加えないでください。
エアハッチの故障の原因になります。

操作パネル中央部に磁石、磁気カード（キャッシュカードなど）を近づけない

- 誤動作やカードが使えなくなることがあります。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

●異常が生じたときや異常運転報知があったときは、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

症　状	点検するところ
運転しない	●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●電源スイッチが「切」になっていませんか。 ●スタートボタンを押しましたか。 ●ドアは確実に閉まっていますか。 ●ドアの磁石部に金属片が付いていませんか。
乾燥時間が長い 乾かないで止まってしまう または異常運転報知をする 異常運転報知 ハッチコースのランプ全てと、「標準」か「除菌」のいずれかの文字が点滅してブザーが15秒間鳴ります。 仕上げ　風乾燥（消臭）1時間　2時間　標準 15分　除菌(75℃) 30分　干す前 60分	●糸くずフィルターが目づまりしていませんか。 ●洗濯物の脱水をよくしましたか。 ●衣類がからんでいませんか。 (洗濯でからんだ衣類をほぐして入れてください) ●洗濯物が多すぎませんか。(「風乾燥」コースでは容量は1kgです) ●運転中に洗濯物を追加していませんか。 ●洗濯物が多いのに「ヒーター」が「弱」になっていませんか。 ●室温が低くありませんか。(約5℃以下) (室温が低い場合、ヒーター「弱」で運転することがあります) ●エアハッチを閉じて風乾燥運転をしていませんか。 ●乾燥途中で10分以上停止していませんでしたか。 (異常運転報知をしてハッチコースの文字全てと「除菌」が点滅した場合)

■故障報知：次のような場合は故障です。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
電源スイッチを入れても、ブザーが3秒間鳴って自動的に切れてしまうとき。
動作中にランプが下記のように点滅し、ブザーが15秒間鳴って、電源スイッチが自動的に切れたとき。
(60分間ランプが点滅して電源スイッチが切れるときもあります)
●ヒーターの「強」、「弱」のランプと下記のいずれかのランプが点滅
「標準」「除菌」「仕上げ」「風乾燥(消臭)1時間」

こんなときは故障ではありません

症　状	原　因
●運転終了後フィルターの掃除をしたのに電源スイッチを押したらフィルター目づまりサインのランプが点滅しブザーが鳴る。	●フィルターが目づまりしたときは、電源スイッチを押したとき再度報知するようになっています。フィルターが目づまりしていないか再度確認してください。
●ヒーター切換ボタンを押してもランプが切り換わらない。	●コースが「除菌(75℃)」、「風乾燥(消臭)1時間」、「風乾燥(消臭)2時間」になっていませんか。 このときはヒーター強／弱、送風運転のいずれかに自動的に設定されます。
●一時停止してヒーター切換ボタンまたはハッチコースボタンまたはコースボタンを押しても変更できない。	●運転をスタートすると変更できません。変更するときは一度電源スイッチを切ってから運転し直してください。
●ドアの内側に水滴が付く。 ●エアハッチの表面や裏面(温風吹出口)に水滴が付く。	●衣類の水分が蒸発し付着したためです。
●運転スタート後しばらくの間、音が大きくなったり小さくなったりする。	●モーターの回転数を調節しているためです。
●フィルターの掃除をしても、すぐにフィルター目づまりサインのランプが点滅する。	●毛布やタオルケットなどの大物を乾燥した場合には、フィルター目づまりサインが点滅しやすくなる場合があります。 ●仕上げ、消臭、風乾燥コース以外でエアハッチを開けて運転すると、フィルター目づまりサインが点滅する場合があります。エアハッチが開いていないか確認してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの衣類乾燥機の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」(☞ 39) にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

37ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	衣類乾燥機
形　名	DE-N55FX あるいは DE-N45FX
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

安全のための点検のお願い

愛情点検	★長年ご使用の衣類乾燥機の点検を！			
	ご使用の際、このような症状はありませんか？	●電源プラグが変形したり、電源コードに“ ひび割れ ”や“ 傷 ”がある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●さわるとビリビリと電気を感じる。 ●乾燥時間が異常に長くなった。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●焦げ臭い“ におい ”がする。 ●ドラム内がさびている(白さびなど)。 ●据え付けが傾いたり、グラグラしている。 ●水漏れがする。 ●その他の異常があるとき。	ご使用中　止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

●上記の症状や異常がない場合でも2〜3年お使いの衣類乾燥機は、安全のため点検をご依頼ください。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(軸受、ベルト、プーリー、フィルターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用ください。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

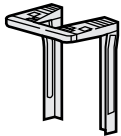
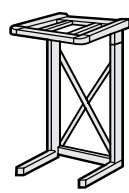
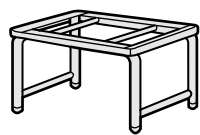
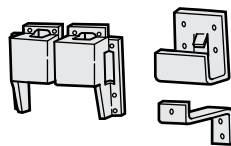
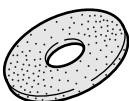
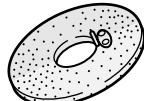
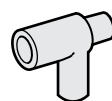
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00〜19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。価格は、2009年2月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■ぴったりスタンド
DES-P31
洗濯機の背面に直接取り付けます。

希望小売価格 8,400円(税抜 8,000円)

■のびのびスタンド
DES-75

希望小売価格 13,650円(税抜13,000円)

■床置き用スタンド
DES-9

希望小売価格 6,300円(税抜 6,000円)

■壁掛金具
DEW-6

希望小売価格 1,943円(税抜 1,850円)

■静電フィルター
DE-F2
微細なほこりや花粉を捕集します。

希望小売価格 1,785円(税抜 1,700円)

■ブラックフィルター
DE-N3F-015
本体に付属のものが破損したときご利用ください。

希望小売価格 525円(税抜 500円)

■L形排水継ぎ手
PF-2300-069
1つの排水口に洗濯機の排水ホースとともに接続します。

希望小売価格 630円(税抜 600円)

■排水パイプ
（SS-B651 073）
日立2槽式洗濯機に排水ホースを接続する場合にご利用ください。

希望小売価格 420円(税抜 400円)

● 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

形名	DE-N55FX			DE-N45FX		
種類	除湿形回転ドラム式電気衣類乾燥機			除湿形回転ドラム式電気衣類乾燥機		
電源	100V、50-60Hz共用			100V、50-60Hz共用		
標準乾燥容量	5.5kg (乾燥布質量)			4.5kg (乾燥布質量)		
発熱方式	自己温度制御発熱体			自己温度制御発熱体		
外形寸法	幅630mm×奥行516mm×高さ670mm			幅630mm×奥行446mm×高さ670mm		
消費電力 (W)	室温	強	弱	室温	強	弱
	30℃	1180	710	30℃	1180	710
	20℃	1200	720	20℃	1200	720
	5 ℃	1270	750	5 ℃	1270	750
質量	26kg			25kg		

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）　JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　**電話（　　）　-**

ご購入年月日　**年　月　日**

廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、2009年4月から、お客様がご使用済みの衣類乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111